

JIS

化学分析用ガラス器具の 共通テーパーすり接手

JIS R 3646⁻¹⁹⁹⁷

(2007 確認)

平成9年8月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 30. 8. 25 改正：平成 9. 8. 20
官 報 公 示：平成 9. 8. 20
原案作成協力者：社団法人 日本硝子製品工業会
審 議 部 会：日本工業標準調査会 窯業部会（部会長 福浦 雄飛）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

化学分析用ガラス器具の
共通テーパーすり接手

R 3646-1997

Interchangeable conical glass ground joints

序文 この規格は、1976年に第1版として発行されたISO 383 (Laboratory glassware—Interchangeable conical ground joints) を基に作成した日本工業規格である。本体では、従来、日本工業規格で規定していた内容を規定しており、附属書3は対応する国際規格の技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

1. 適用範囲 この規格は、化学分析用ガラス器具の共通テーパーすり接手(以下、共通テーパーすり接手という。)について規定する。

ただし、全量フラスコに用いる共通テーパーすり接手は、附属書1、及び細口共栓瓶に用いる共通テーパーすり接手は、附属書2によってもよい。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 0601 表面粗さ一定義及び表示

JIS B 0651 触針式表面粗さ測定器

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7507 ノギス

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 383 : 1976 Laboratory glassware—Interchangeable conical ground joints

2. 種類 共通テーパーすり接手の種類は、次の4種類とする。

(1) 長形：表1による。

(2) 中形：表2による。

(3) 短形：表3による。

(4) ISO形：附属書3による。

3. 品質 共通テーパーすり接手の品質は、JIS R 3503の規定による。

4. 気密性 共通テーパーすり接手の気密性は、7.4の試験を行い、漏れによる圧力増加が、5分間で1.33 kPaを超えてはならない。

5. 表面粗さ 共通テーパーすり接手のテーパー部分の表面粗さは、JIS B 0601の2.(1)(表面粗さ)で定義する算術平均粗さ(R_a)として1 μm を超えてはならず、0.5 μm 未満であることが望ましい。

6. 記号、形状及び寸法 共通テーパーすり接手の記号、形状及び寸法は、長形は表1、中形は表2、及び短形は表3のとおりとする。